



中高一貫教育研究集会 令和8年度連携型中高一貫教育がスタートしました！

4月30日（木）、明峰中学校を会場に「連携型中高一貫研究集会」が開催されました。

全体会では、小瀬高校の菌部校長先生、明峰中学校の河野校長先生から、両校における中高一貫教育の意義や目標、今後の推進への期待についてお話をいただき、全教員で共通理解を図りました。また、ご来賓の市教育委員会・小野教育長先生からも、中高連携への温かい期待を込めたご講話をいただきました。

続く「教科部会」では、終始なごやかな雰囲気の中、「スポット的授業」や「相互授業参観」、「福祉体験授業」といった具体的な連携案に加え、11月開催予定の「ふれあいキャンパス」の運営について活発な意見交換が行われました。中高の学習内容を互いに理解し合うことは、連携を深める上で大変重要です。

また、「部活動部会」では、主要事業である「部活動交流」の共通理解を図り、生徒たちが部活動を通じて積極的に交流するための話し合いを行いました。

中高6年間を通して、生徒一人一人が豊かな社会人としての資質や能力を身に付けていけるよう、これからも両校で緊密な情報交換と連携を続けてまいります。

教科部会、部活動部会の他に、生徒指導担当や養護教諭の情報交換も行われました。

新入生や各部活動での活動の様子など、様々な話題について語り合うことで、連携を充実させるアイデアが浮かんできました。



中高一貫教育振興連絡協議会・推進委員会 地域と歩む、中高一貫教育の推進

5月8日（金）、本校において「第1回中高一貫教育振興連絡協議会並びに連携型中高一貫教育推進委員会」が開催されました。この会議は、連携型中高一貫教育をより充実させ、地域の未来を担う子どもたちをどのように育てていくかを話し合う大切な場であり、当日は教育委員会や地域代表の皆様にお集まりいただき、熱心な協議が行われました。

協議の中では、ご参加いただいた皆様から、小瀬高校の魅力をさらに学外へアピールするための大変有意義なご助言やアイデアをたくさんいただきました。特に、野球部や花いけ部の活躍や、生徒たちの魅力が詰まった「学校PR動画」、そして本校ならではの「枝物（えだもの）」を通じての地域とのつながりは、生徒たちが日々ひたむきに努力し、地域に根ざして活動している証であり、まさに「小瀬高校の誇り」であるとの温かいお言葉をいただきました。

さらに、これらの素晴らしい強みを、保護者や地域の皆様、そしてこれからは担う中学生や小学生に「どのように知らせ、見せていくか」という点についてもご助言をいただきました。具体的には、ホームページやSNS等をさらに活用して日常の生き生きとした様子をタイムリーに発信することや、地域のお祭りに積極的に参加して地域の方々と直接ふれあいながら活動を知ってもらうことなど、実践的な工夫をご提案いただきました。今回いただいた貴重なご助言を真摯に受け止め、これからも生徒たちの輝く姿を積極的に発信しながら、地域に愛される中高一貫教育の推進に努めてまいります。



"OSE Challenge + Plus ~ Catch your dreams ~"